

議会 だより

令和4年
第1回定例会

発行 田原本町議会

編集 議会編集委員会

令和4年田原本町議会「第1回定例会」が3月1日から16日までの16日間の日程で開かれました。開会日には森町長が令和4年度施政方針、提出議案について説明。会期中、各議案について慎重に審議が行われました。

議案概要

《報告を受けた案件》

○町長の専決事項の指定についての報告
・賠償事故に係る損害賠償額の決定について

《採択とした案件》

○日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める請願書（賛成多数）

《承認・可決した議案》

○令和3年度田原本町一般会計補正予算（第7号）の専決処分の報告（全員賛成）

補正予算額は2億3517万9900円の増額で、補正内容は、子育て世帯への給付のうち、5万円相当のクーポンを基本とした給付について、先行給付の5万円と合わせて現

金10万円を一括支給するもの。
○令和3年度田原本町一般会計補正予算（第8号）の専決処分の報告（全員賛成）
補正予算額は3億5599万1000円の増額で、補正内容は、住民税非課税世帯等に対して1世帯あたり10万円を支給するもの。
繰越明許費補正は、非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業について、翌年度に繰り越すもの。
債務負担行為補正は、2年間の人材派遣業務委託料で1472万1000円を限度額と定めるもの。

○令和4年度各会計当初予算

予算審査特別委員会を設置し、2日間審査しました。予算の概要は広報4月号をご覧ください。

田原本町一般会計予算、田原本町国民健康保険特別会計予算、田原本町後期高齢者医療特別会計予算（賛成多数）
田原本町介護保険特別会計予算、

磯城郡介護認定審査会共同設置特別会計予算、田原本町下水道事業会計予算（全員賛成）

○令和3年度田原本町一般会計補正予算（第9号）（全員賛成）

補正予算額は、2億2122万1000円の増額で、補正内容は、総務費で、臨時財政対策債償還基金費の減債基金への積立金と、寄附金の企業版ふるさと納税基金への積立金、マイナンバーカード所持者の転出・転入手続きのワンストップ化にかかるシステム改修経費。民生費で、保育士や学童保育支援員等を対象に、収入を3%程度引き上げる処遇改善を実施するための経費。農林水産業費で、矢部地区における地籍調査事業の測量業務経費等。土木費で、歩道整備工事及びグリーンベルト・区画線・転落防止柵の設置等経費。教育費で、指導者用タブレット端末の追加整備に要する経費等。
歳入補正は、地方交付税、国庫支出金、県支出金、寄附金、繰越金及び町債。
繰越明許費補正は、定年延長規整備支援業務ほか14事業について、翌年度に繰り越すもの。
地方債補正は、道路新設改良事業に450万円を増額、交通安全対策事業に450万円を追加、流域貯留浸透事業を740万円減額するもの。

○令和3年度田原本町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）（全員賛成）
補正予算額は、1億726万5000円の増額で、補正内容は、一般被保険者療養給付費について、必要額が予算額を上回ることに伴う増額及び令和2年度災害等臨時特別補助金の超過交付分の返還。

歳入補正は、国民健康保険税、国庫支出金、県支出金及び繰越金。

○令和3年度田原本町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）（全員賛成）
補正予算額は、1700万円の増額で、補正内容は、後期高齢者医療広域連合納付金について、特別徴収保険料の収納額が予算額を上回り納付金に不足が生じることに伴う増額。

歳入補正は、後期高齢者医療保険料。

《可決した決議書》

ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議（賛成多数）	議会運営委員会提出
----------------------------	-----------

《可決した意見書》

年金引き下げ撤回を求める意見書（賛成多数）	吉田容工議員提出
水田活用の直接支払交付金の見直し撤回を求める意見書（賛成多数）	吉田容工議員提出
日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書（賛成多数）	総務文教委員会提出

○田原本駅前広場条例（全員賛成）
町民等に憩いと交流の場を提供し、賑わいのある地域づくりを進めるため、田原本駅前広場の設置及びその管理に関する条例を制定するもの。

○田原本町職員定数条例及び田原本町行政組織条例の一部を改正する条例（賛成多数）

機構改革による組織の再編等に伴い、町長の権限に属する事務を分掌させる部及び町長の権限に属する分掌事務の改正を行うとともに、現状の職員数との整合性を図るため職員の定数について、所要の改正を行うもの。

○職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例（全員賛成）
国家公務員に準じ、非常勤職員の育児休業等の取得要件の緩和等を行うため、所要の改正を行うもの。

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例（賛成多数）

国家公務員の取扱いに準じ、期末手当支給率を令和4年6月支給分から、一般職について年間0.15月分引き下げ、また令和3年度の引き下げに相当する額について、令和4年6月の期末手当から減額すること等の改正を行うもの。

○田原本町国民健康保険税条例の一部を改正する条例（賛成多数）

令和6年度県内保険料水準の統一化に向けた国民健康保険税率、地方税法施行令の一部改正による課税限度額及び国民健康保険法施行令の一部改正による未就学児均等割保険税の軽減措置について、所要の改正を行うもの。

○田原本町企業立地促進条例の一部を改正する条例（全員賛成）
対象企業に関し地域経済牽引事業を行う者に限定せず、あらゆる産業に属する者を支援の対象とし、事業の有効性等の観点から奨励措置の重点化を行う改正を行うもの。

○田原本町下水道条例の一部を改正する条例（全員賛成）
磯城郡水道企業団設立による田原本町水道給水条例の廃止に伴い、所要の改正を行うもの。

○田原本町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例（全員賛成）
消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律の一部が改正され

令和4年4月1日に施行されることに伴い、所要の改正を行うもの。

○田原本町道路路線の認定について（全員賛成）

新たに5路線の認定について、議会の議決を求めるもの。

○財産の無償譲渡について（全員賛成）



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

植田 昌孝 議長

ロシアによるウクライナ侵攻で、民間人にも多数の犠牲者が出ています。町議会としても、ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議を可決し、犠牲者に対して黙とうを行いました。

さて、今期定例会では請願1件、令和4年度予算等30件の議案を審議し、8名の議員が一般質問しました。また、議会改革の推進に伴う調査研究のため、新たに「議会改革特別委員会」を設置いたしました。今後も議会基本条例に基づき、議会の運営状況を検証し、適切な措置を講じるとともに、議会のICT化、議会だよりの充実等について、集中的に改革に取り組んでまいります。

「議会改革特別委員会」（敬称略）

委員長 藤井誠人
副委員長 岡本充弘
委員 竹邑利文、村上清司、梶木裕文、平田昌隆、杉岡雅司

吉田 容工 議員

コロナ感染が広がり飲食休業等の影響を受けて米価が大幅に下がりました。値下がり分を補填した町があることから、本町でもコロナ感染症臨時交付金で補填せよ！と質しました。残念ながら、町長は高収益作物への転換を進めっていると拒否されました。また、学級閉鎖、学校閉鎖時の給食代を保護者負担から控除せよ！と質しました。予測ができません、短期間のため食材をキャンセルできないので保護者から徴収すると明言されました。他町が日割り、還付等対応されていることと比べると、子どもたちにも・農家にも冷たい対応であると指摘しました。

岡本 充弘 議員

核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書が可決されるなど反戦・平和の流れが来ています。非核平和都市として本町の姿勢を示し、世界平和の一翼を担う事を大事にしていきたいと願う限りです。一般質問では新型コロナウイルスに伴い本町での大規模PCR検査場の設置とゴミ袋の無償配布・低価格維持について質問しました。近隣の大規模PCR検査場で空きがある点や県の事業の為率先する事が出来ない点

西竹田公民館及び西竹田葬祭等準備室並びに敷地2筆を認可地縁団体西竹田自治会に無償譲渡するもの。

○奈良県広域消防組合規約の変更に ついて（全員賛成）

構成市町村からの議員選出機会の均衡を図り、執行機関と議会を分ける体制整備及び組合の議会の議員の任期を2年とする体制強化のため、所要の改正を行うもの。

○田原本町議会委員会条例の一部を改正する条例（賛成多数）

田原本町職員定数条例及び田原本町行政組織条例の一部を改正する条例が施行されることに伴い、所要の改正を行うもの。

《適任・同意した人事案件》

○人権擁護委員候補者推薦につき議会の意見を聞くことについて

氏名 上田宣行氏
任期 令和4年7月1日から
令和7年6月30日

○副町長の選任につき議会の同意を求めることについて

氏名 高江啓史氏
任期 令和4年4月1日から
令和8年3月31日

○田原本町政治倫理審査会の委員の委嘱につき議会の同意を求めることについて

氏名 上田善康氏、川崎祥記氏、

などありましたが、町民の皆さんが望んでいる事ですので真摯に取り組みと答弁されました。皆さんの暮らしの安全の為に取り組んでまいります。

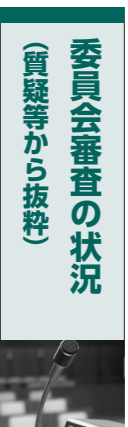
杉岡 雅司 議員

今定例会では、本町の玄関口である田原本駅前を町民等の憩い及び交流の場とするため（活気と賑わいのある地域づくりを進めるため）、新たに「田原本駅前広場条例」が提案されました。田原本駅前には、市街地再開発事業により令和5年度末に住居・商業機能及び子育て支援施設や駐車場が入った駅前ビルが完成することから、今までにない賑わいが生まれることと期待しており、今回の条例により駅前広場の活用等、更なる活性化を図っていただきたいと思えます。ただ、周辺の雰囲気悪化や近隣の迷惑にならないよう取り組んでいただきたい旨求めました。

持田 尚顕 議員

新年度の各会計予算の審査を行いました。新型コロナウイルス接種の実施、新たな民間保育所の10月開園（予定）、通学路の安全対策なども含まれています。田原本駅南地区市街地再開発事業は、組合への補助を行い令和5年度中の完成に向け再開発ビルの建設工事が進み、ビルの2階

米田隆史氏、鶴谷将彦氏、山岡佐規子氏、山田至完氏、米田正子氏
任期 令和4年4月1日から
令和6年3月31日



《総務文教委員会》

質問 令和3年度田原本町一般会計補正予算（第9号）について、指導用のタブレット端末を導入することで、子どもたちの基礎学力の定着につながるのか。

回答 先生と子どものコミュニケーションがあつてのICT教育と考えるのではなく、伝達方法の一つとして上手に活用していきたい。

《厚生建設委員会》

質問 令和3年度田原本町一般会計補正予算（第9号）について、死亡事故の発生した幸町交差点にいつ歩道が整備されるのか。

回答 令和4年度に設計し令和5年度に用地交渉、令和6年度に工事予定である。工事までの間、何らかの安全対策を早急に講じていきたい。

には、町の施設としての子育て支援施設やFMラジオ局が整備されます。町の玄関口の整備で活性化が期待できます。

小中学校施設再配置については、小学校統合の基本方針やスケジュールを定める学校施設再配置基本構想を策定するなど検討が進められます。

梅谷 裕規 議員

一般質問は、本会議の場で町長等執行部に対し議員が直接対話でき会議録に残る貴重な機会です。3点質問しました。①小学校特別支援教育の充実―発達障がい児の保護者団体から町長への要望書提出を受け、各項目について町の考えをいただきました。②子育て世帯への臨時特別給付金―近隣の橿原市、広陵町等で所得制限を外し全児童へ10万円支給される中、当町も支給するように求めましたが、他の子育て支援が充実しているとの理由で支給しないとの残念な答弁でした。③唐古・鍵遺跡史跡公園の犬の散歩対策―多くの人々に愛される公園となるよう散歩ルールを徹底するとの答弁を得ました。

藤井 誠人 議員

一般質問2点①骨髄ドナー提供者の支援について、骨髄提供には事前の自己血採血等の通院が必要、その

間の休業による経済的負担の軽減を図るための助成制度の整備を訴え「1日2万円の休業補償を7日間を上限に令和4年度より予算計上する」と今定例会で予算決定。

②犬猫の理由なき殺処分ゼロに向けた取組、野良猫問題の解決に向けたTNR動物基金行政枠の提案、「地域住民からの声を助勢する」と建設的答弁を得た。令和4年度予算審査特別委員会では、学校における安全管理・通学路の安全対策を建築士の視点から提案し「早急に取り組むとの答弁」他9点、質しました。

梶木 裕文 議員

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し、即時の攻撃停止と軍の完全撤退を求める決議を提出、賛成多数で可決しました。所属委員会では、交通安全対策事業について幸町交差点の今後の取り組みについて質問、道路整備には県や警察、地権者等との調整が必要で時間を要する為、完成までに行ける交通安全施設等の整備の重要性を訴えました。今定例会は次年度の予算を審査する重要な定例会、予算審査特別委員会が設置され、2日間にわたり慎重に審査され賛成し承認されました。また新たに「議会改革特別委員会」が設置され、委員に選任されました。

村上 清司 議員

一般質問において、新年度に効率的な行政体制の構築に向けて、機構改革を強く進め、効率的な行政運営と未来を見据えたまちづくりを実現していくとの事でありました。具体的には、磯城郡3町で形成された磯城郡水道企業団による事務の開始、住民サービスの向上に向けた総合窓口課の設置、「ゼロカーボンシティ宣言」の実現に向けて、廃棄物の減量を図り再生可能エネルギーを推進する取組を進められるとの事でありました。行政のデジタル化推進においては、住民の利便性向上や業務効率化を目的として取り組み、安全・安心で利便性の高いデジタル社会の基盤であるマイナンバーカードの普及・利活用に取り組むとの事でありました。

安田 喜代一 議員

少子化が進行するなか、小・中学校施設の適正配置を考えた学校再配置の検討が町で進められております。東小学校区の東幼稚園は現在、在園児および就園対象児童数の減少により休園中であり、他の町立幼稚園を利用されている状況です。また、町内の学校施設は老朽化が進んでおり、教育の多様化等のニーズに対する機

能や安全性の維持が難しくなっています。議会でも小中学校施設再配置検討特別委員会が設置されました。学校・幼稚園の適正な規模を維持し、教育環境がより良いものになるよう取り組んでおります。

古立 憲昭 議員

家族の介護や世話を担う18歳未満の「ヤングケアラー」問題が提起されており、社会的認知度と効果のある支援の必要について、前回の質問を踏まえて、個別支援計画と重層的支援体制の取り組みを町、並びに教育委員会に問う。また新型コロナウイルス感染症対策について、3回目のワクチン接種の体制、高齢者、18歳未満の対応、そして前倒し接種の状況、さらに感染による園や学校の対応、また園・学校の学級閉鎖に伴い、食べていない給食費徴収の是非を問う。

以上2点を一般質問しました。

西川 六男 議員

プーチン大統領によるウクライナの人々の尊い命と平和な暮らしを奪う侵攻行為に、議会として決議を出す事は、大賛成です。核兵器の使用を示唆し、原子力施設への攻撃は、人類はもとより地球の破滅に繋がる危険もあり、被爆国の国民として決議に非難

する文言を加える様に再々提案しました。しかしこの事には全く触れない決議を出された事は、非常に残念です。桜井市議会の決議では「核兵器の使用を推測される言動は、決して許されない」という文言になる等、全国の多くの議会や各種団体は、核使用の動きに対する抗議も行っています。

竹邑 利文 議員

昼夜間人口比率とは、夜間人口100人当たりの昼間人口の比率を示し、本町は91・3%である。昼間人口が少ないことは、町内における雇用や商業機能の面での弱さを表しているが、工場誘致等で従業員（町内在住）増の政策を進める。PTAは保護者と教職員によって構成された任意団体で、学校教育法・地方財政法により学校の設置者はその学校の経費を負担する。住民に対しその負担を転嫁してはならないとあり、教育委員会が主導的な役割を果たすのではなく、学校と保護者により実施される。児童の生理について、養護教諭が初経の手引等で十分な知識教育を行い、生理の貧困にも対応済みと一般質問で答弁を得た。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、6月上旬に開催(予定)します。

☎ 議会事務局 ☎ 34・2119